

令和6年度
児童施設課程〈基礎コースⅡ〉

私のキャリアと 中堅職員としての 役割

10月30日(水)
9:30~16:30

大阪社会福祉指導センター
4階研修室1

対象:勤務経験3~5年目の児童
福祉施設職員・30名程度

参加費:5,000円

本研修を遅刻・欠席なく受講し、
人権研修受講(動画視聴・次ページ参照)
された方に修了証書を発行します

施設職員として、チームケアの視点から
どのような役割を担い実践に結び付け
ていくかを考えます。また、職員のキャ
リアアップについて考え、多面的な視点
を通して自分自身のステップアップを図
る機会とします。

研修プログラム

| 時間 | 内容 | 講師 |
|---------------------|--|-----------------------------------|
| 9:30 ~ 12:30 | 「児童福祉施設職員のキャリアについて考える」 ・児童福祉施設の現状/やりがいとストレス ・自分自身を振り返り、今後の目標設定とチャレンジ意欲につなげる | 立命館大学 産業社会学部 教授 石田 賀奈子 氏 |
| 13:30 ~ 16:30 | 「児童福祉施設におけるチーム/ 組織について~チームの中の私の役割を考える~」 ・チーム力の向上、支援の向上、組織の強化について考える 他施設との情報交換 | 京都文教大学 こども教育学部 講師 藪 一裕 氏 |

グループディスカッションをできたことで、同じ悩
みを一緒に考えられたり、自分自身のしんどさ
も笑いあえたので良かったと思います。

※R5研修アンケートより



中堅に何が求められているかだ
けでなく、施設職員として求めら
れていることまで学ぶことができ、
大変貴重な機会となりました。

申込締切 10月9日(水)17:00まで

[申込はこちら](#)

令和6年度 階層別研修における人権研修 オンデマンド研修 (動画視聴型)

社会福祉サービスの基本理念として「尊厳の保持」や「良質かつ適切なサービスの提供」の原則が社会福祉法に規定されております。このため、その人らしい暮らしを当たり前に行うことができるための支援、地域づくりが福祉関係者に求められています。社会情勢の変化に対応できるよう、人権感覚豊かな福祉の専門職の養成を図ることを目的に、人権の尊重を基本とした幅広い研修カリキュラムをもとに人権研修を行います。

対象

下記の研修受講者(令和6年度実施の研修／主に初任者クラス)

老人施設課程(基礎コース)、障がい児者・救護施設課程(基礎コースⅠ:通所・入所コース)、児童施設課程(基礎コースⅠ)、児童施設課程(基礎コースⅡ)の各受講者

※人権研修の受講は必須となります。各研修の出席状況等を踏まえて、レポートの入力提出確認をもって、当該研修課程の修了証書を発行いたします。

配信日時

令和6年**11月1日(金)11:00**～**21日(木)16:00**

の間に5つのテーマのうち、2つのテーマ(2枚目詳細あり)を選択し、動画視聴。
動画時間:1テーマ90分程度(予定)×2テーマ

レポート 締切日

令和6年**11月21日(木)16:00** (必着)

※上記日時までに、レポートの提出がなければ修了証書の発行はできませんのでご注意ください。

会場

職場または自宅にて動画視聴によるオンデマンド研修

受講料

無料 (すでに各研修にて受講料を
いただいているため)

申込

不要

※辞退される方は、
必ず事前にご連絡ください。

受講の流れ

10月上旬

■研修動画視聴(研修資料)のためのログインID・パスワードを
メールにて連絡します。 【視聴ログインURL】
<https://vdg.jp/kensyu-c>

※メールに記載されている氏名・送付先住所に誤りがないかご確認ください。
誤りがあるまたは、メールが届かない場合は、必ずご連絡ください。



視聴ログインページ↑

11/1 11:00
、
11/21 16:00

■資料ダウンロード～レポート入力(提出)まで

- ①5つのテーマのうち2つを選択
- ②選択した2つの研修資料をダウンロードし印刷
- ③選択した2つの動画を視聴
- ④Googleフォームにて、選択視聴した2つの
レポート入力・提出(1テーマ200字以上×2テーマ)



レポート入力用フォーム↑

【レポート入力用URL】

<https://forms.gle/4VhdndgrWX7g9n2Y6>

※Googleフォームでのレポート作成が困難な場合は、10/31までに、事務局まで
必ずお申し出ください。

※レポートの提出が完了した場合、入力したメールアドレスにレポート内容が自動送信
されます。必ずご確認ください、届かない場合は事務局までご連絡ください。

【レポート】
11/21
16:00締切

12月中旬

■レポート確認後、郵送にて修了証書を送付します。

※児童施設課程(基礎Ⅰ)のみ最終日(2月)に発行

【テーマ①】

多様な性のあり方 LGBTQ+
～男女やLGBTだけじゃない！
性のあり方は十人十色～

井上 鈴佳 氏

(中学校・高等学校元保健室の先生 レズビアン)
最近よく目にするLGBTQ+という言葉。
芸能人やテレビの中だけの話ではなく、
とても身近なことです。男女やLGBTだけ
ではない、多様な性のあり方について
考えます。

【テーマ②】

ひきこもり等の若者に対する
理解と支援

藤村 泰王 氏

(特定非営利活動法人 育て上げネット)
ひきこもり・若年無業・不登校などの基本
的な理解とひきこもり等の若者の自立に
至る支援の方法を知り、本人だけでなく、
家族への関わりについても学びます。

【テーマ③】

自殺防止と人権の視点

北條 達人 氏

(認定NPO法人 国際ビフレンダーズ
大阪自殺防止センター 理事長)

日本で自殺する人は、年間2万人を超えて
います。自殺の実態や自殺を考えてしまう
人の感情を「知る」ことで、福祉施設の職員
が自殺防止に向けてどのような役割が果た
せるか、また何ができるのか、一緒に考え
学んでいきます。

【テーマ④】

「認知のゆがみ」の理解と
その支援～“コグトレ”を通じて～
宮口 英樹 氏

(高知健康科学大学 学長)

『ケーキの切れない非行少年たち』が
2020年ベストセラーになりました。
「認知のゆがみ」「知的ボーダー(境界知能)」
の背景や特徴、生活のしづらさを抱える
社会的な要因、「コグトレ」を通じた支援や
その効果・可能性などについて学んでい
きます。

【テーマ⑤】

子ども虐待防止のために

辻 由起子 氏

(大阪府認定子ども虐待防止アドバイザー)

子どもへの虐待を防止するためには、虐待
を「取り締まる」のではなく、子育てに不安
や困難を抱えた時に、誰かに打ち明けたり
相談できる体制があることが重要です。な
ぜ虐待が起きてしまうのか、ご自身の体験
や子育て支援の取り組みの中からその要因
を探り、虐待防止のために必要な支援につ
いて学びます。

◆禁止事項◆

- ・受講者以外の方が視聴すること。
- ・専用ページID・パスワード・URLを研修受講者以外の
第三者に渡すこと。
- ・本研修の動画および資料を無断で編集、引用、抜粋
すること。
- ・本研修の動画、資料を無断で複製すること。
- ・本研修の動画および資料を研修申込者以外に無断で
提供、配布、販売すること。
- ・その他、本動画提供の趣旨に反すること。

研修申込みされる皆様へ

大阪府社会福祉協議会
大阪福祉人材支援センター 研修グループ

研修にお申込みされるにあたってのお願い

大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修グループでは、引き続き安心して皆様にご受講いただける環境を整えてまいります。研修申込みされる皆様におかれましてもご協力くださいますようお願い申し上げます。

■安心できる受講環境のために

- ・各事業所におきましても、引き続きの感染対策をされていることと存じます。お互いに安心して研修に受講できるように、各自で感染対策をお願いいたします。
- ・本センターとしては、会場入口に消毒液を設置しておりますので、適宜ご利用ください。また、休憩時等、定期的な換気を行います。
- ・ゴミは、各自お持ち帰りいただきます。

なお、地震・台風など自然災害等により、やむを得ず研修を中止または延期させていただく場合がございます。中止または延期の場合は、速やかにご連絡させていただきます。

